

議会広報広聴特別委員会次第

日時 令和6年1月12日（金）

午前10時00分開議

場所 第3・4委員会室

1 開会

2 議題

- (1) 第24回議会報告会の開催日程・場所などについて
- (2) 今後の流山市議会だよりの構成について
- (3) 流山市議会だより第186号校正会議について
- (4) その他
 - ア 次回及び次々回の開催について
 - イ その他

3 閉会

第23回議会報告会後の各議員からの意見と参加者からの声

資料1

(R6.1.12 広報広聴)

1. 各議員からの意見

※氏名は報告書の記載順 ※報告書内の①所要時間、②方式・体制、③その他（あり方など）に言及した意見のみ要旨を記載

| 総務（1班） | 教育福祉（2班） | 市民経済（3班） | 都市建設（4班） |
|--|---|---|---|
| <p>①所要時間 ・<u>正味1時間45分では、参加した市民と意見交換できる時間が少ないように感じた。</u>（おだぎり議員）</p> <p>・<u>時間が限られた中で行われているため、効率良く、より多くのご意見を伺える仕組みが必要であると感じた。</u>（岡議員）</p> <p>②方式・体制 ・<u>次年度は、従来型ではなく、まだ形にはなっていない新しい方式を試してみるとよいと思う。</u>報告会の内容、行政への提言など、<u>改善できるところは改善していこうと考えている。</u>（森田議員）</p> <p>・<u>参加された市民がどういうことに関心を持っているのかを聞けるような取り組みがあれば、もっと意見交換ができたと思う。</u>参加議員がこうすれば、<u>もっと報告会が良くなるのでは？</u>という「？」の段階でも実践して、<u>課題や良さを共有できればと思う。</u>（おだぎり議員）</p> <p>・<u>現在のやり方による議会報告会は問題が多く意味がないやり方を大胆に変更すべき時に来ていると強く感じた。</u>（中川議員）</p> <p>③その他（あり方など） 特になし</p> | <p>①所要時間 特になし</p> <p>②方式・体制 特になし</p> <p>③その他（あり方など） ・<u>市民の意見を聞くよい機会であった。</u>地元の声を聞くと同時に、<u>議員は全市的に責任を負うため、地元以外の声を聞くのは重要であると感じた。</u>（乾議員）</p> | <p>①所要時間 ・<u>時間の都合により、発言の機会を失ってしまった方もいたのではないか。</u>（戸辺議員）</p> <p>②方式・体制 特になし</p> <p>③その他（あり方など） ・<u>議会報告会は議員と市民の皆様が互いに声を聞くことが本来の姿であると感じた。</u>（渡辺議員）</p> <p>・<u>市民と対話する機会が保証されている議会報告会はやはり必要である。</u>市議会主催の議会報告会は、<u>会派を超えてみんなで情報共有できる貴重な場であると感じた。</u>（植田議員）</p> <p>・<u>参加見込みを大幅に超えたことで座席や配付資料の不足が生じた。</u>今後は<u>様々な事態を想定した入念な準備が必要である。</u>（戸辺議員）</p> <p>・<u>地域の議員による意見交換の場の充実も重要で、掘り下げて説明を聞く必要があると感じた。</u>（藤井議員）</p> <p>・<u>住民の声を議員7名が同時に聞ける議会報告会は重要である。</u>（青野議員）</p> | <p>①所要時間 ・<u>時間の関係もあり十分な説明ができなかったのが反省点である。</u>（野村議員） ・<u>時間が足りないと感じた。</u>（近藤議員）</p> <p>②方式・体制 特になし</p> <p>③その他（あり方など） ・<u>住民と議員は共に課題に対峙していくパートナーでなければならない。</u>（近藤議員）</p> <p>・<u>開始前に注意事項を説明し守れない方は退場いただく手段も必要と感じた。</u>（清水議員）</p> <p>・<u>質問形式に関しては、1問1答方式の方が情報を理解しやすく良かったと感じる。</u>同じ質問者の長い発言が続いたことにより、<u>他の参加者が発言しにくくなった印象があった。</u>（小沢議員）</p> <p>・<u>日常的な課題から市全体のあり方についても意見があり、短時間では答えられない内容ばかりで難しさを感じた。</u>参加者が少ないことも、<u>企画してきている中で残念な面があり課題があると思う。</u>どのような点の改善・工夫が必要か論議していく時期にきていると思う。（高橋議員）</p> |

2. 参加者からの声

| 総務（1班） | 教育福祉（2班） | 市民経済（3班）、都市建設（4班） |
|---|---|-------------------|
| <p>・<u>総体的に質疑の時間が少ない。</u></p> <p>・<u>市民の声を直接議員に伝える大切な会と感じた。</u></p> <p>・<u>1つの報告会につき90分での対応では時間が足りないと感じる。</u></p> | <p>・<u>4つの委員会を2日間で開催しているが、1日に1つの委員会、終日（5～6時間）で、議員独自の意見を出せる報告会にして欲しい。</u>5月に2委員会、11月に2委員会→各委員会が年に1回報告会を対応する。</p> | <p>⇒特になし</p> |

令和5年11月13日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 森田 洋一 様

議会報告会 1班（総務委員会）

班長 西尾 段

中川 弘

鈴木 ゆうすけ

川本 大岳

岡 明彦

森田 洋一

おだぎり たかし

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、御報告します。

記

1 日時

令和5年11月11日（土）午後1時00分～午後2時30分

2 場所

初石公民館 講義室

3 欠席議員 鈴木ゆうすけ 委員

4 来場者数 市民来場者15人、
議員・職員8人 計23人

5 報告内容 「令和4年度決算について」

「観光からみた流山を考えてみる」

6 意見交換内容

- ・本市のたばこ税について、各議員の見解を確認された。
- ・児童・生徒を慮るあまりに本市の非課税世帯や多子世帯への対応について、子ども達への対応の確認があった。
- ・観光について、各議員の見解や取り組みについて意見交換があった。

7 参加者から議会への要望

- ・流鉄線の車両整備や時刻変更についての要望
- ・初石駅の整備や橋上化の工事進捗状況、推進への要望
- ・利根運河周辺の観光及び整備の要望

8 所感

森田 委員

- ・準備の時間があったため、資料やプレゼン内容を事前によく考えることができた。
- ・当日の質疑の内容、積極的な改善案を聴くことができた。
- ・委員会内のコミュニケーション向上、チームワーク形成に役立った。
- ・施策によっては、施策そのものをやめろと言われると、議論が進まない内容もあると感じた。
- ・そもそもこのような報告会をやる必要性は、強く感じなかったため、いろいろな方式を試す意味で、次年度は、従来型ではなく、まだ形にはなっていない新しい方式を試してみるとよいと思う。
- ・報告会の内容、行政への提言など、改善できるところは改善していこうと考えている。

川本 委員

市議として初めての議会報告会でしたが、総務委員会の所属議員は政党や会派、活動している地域が異なる議員で構成されていることから、多様な視点や意見があり、参加いただいた市民のみなさまのみならず、議員にとっても有意義で貴重な時間となったのではないかと思います。流山市の決算報告と観光という2つのテーマで報告・意見交換を行いました。ご参加いただいたみなさまからのご質問や問題提起・ご意見や

体験談など、今後の市政運営のヒントとなる内容が盛りだくさんで、流山市の課題と共に魅力についても再認識させていただくことが出来ました。

おだぎり 委員

- ①参加された市民の半数からご意見をお聞きでき、良かった。一方で、参加された市民がどういうことに関心を持っているのかを聞けるような取り組みがあれば、もっと意見交換ができたかなと思います。
- ②事前準備、事後の片づけを除き、公民館の12～3時(12時～1時は昼食休憩という社会通念上、報告会としては使用できない時間)という正味1時間45分では、参加した市民と意見交換できる時間が少ないように感じました。
- ③参加議員がこうすれば、もっと報告会が良くなるのでは?という「?」の段階でも実践して、課題や良さを共有できればと思います。

中川 委員長

今回、令和4年度決算に加え議会報告会としては恐らく初めてとなる観光という切り口での報告会となったが、市民の方から「流山の観光は本町だけなのか全市的視点や近隣市との連携が欠けている」、「古民家ばかりが観光じゃない、レジャー施設だって観光を担えるのではないか」、「運河エリアに駐車場が無い」等の新しい切り口からのご指摘や、ややもすると方針が固定化している当市の観光行政に対する厳しいご意見をいただいた点は有意義であった。

ただ、議会報告会を否定するものではないが、現在のやり方による議会報告会は問題が多く意味がないやり方を大胆に変更すべき時に来ていると強く感じた。

西尾 副委員長

参加者数も多く「決算」と「観光から見た流山を考える」というテーマで発表したことに対する質疑が沢山出て、一つの質疑に対して複数の議員が答えるなど、活発な意見交換が出来て良かった。

決算については「たばこ税について」という具体的なテーマでの質疑に対して「たばこは地元で買しましょう」と言う事は昔から言われているが、市

外で働いている市民が多い流山市では難しい問題との認識があった。その後手元にあったデータで確認したところ流山市民の市内在勤在学率は28.3%と低く、福岡市は85.4%、北九州市は85.2%、飯塚市は66.6%と福岡県内の市では高い傾向があった。近隣市も調べてみて今後に活かしたい。

流鉄のカラーリングやイベント等についても意見が出たが、カラー、デザインについては好みの問題がある事やICカードが使えない事も弱みではなくあえて強みにする事などで出来るだけコストをかけずに工夫で対応する事を提案した。

今回は多くの市民の方から質疑や要望を頂けたのでそれを今後の市政に活かせるように取り組んでいきます。

岡 委員

今回の議会報告会については「令和4年度決算について」と「観光からみた流山を考えてみる」2つのテーマでの意見交換となったが、ご参加の市民の方々からの様々な視点からのご質問を頂き、議員が課題意識を強く持てた良い機会であったと思います。また、観光についてはより多くのご意見や要望があり、地域にお住まいの方々の課題を的確に捉えておられると思ったが、一方で時間が限られる中で行われていますので、効率良く、より多くのご意見を伺える仕組みが必要であると改めて思った。

令和5年11月21日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 森田 洋一 様

議会報告会 2班（教育福祉委員会）

班長 海老原 功一

楠山 栄子

阿部 治正

矢口 輝美

桑畑 伴子

乾 えり

坂巻 儀一

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、御報告します。

記

- 1 日時
令和5年11月11日（土）午前10時00分～午前11時30分
- 2 場所
東部公民館 講義室
- 3 欠席議員 海老原 功一
- 4 来場者数 市民来場者12人、議員・職員3人
- 5 報告内容
3テーマで報告（配布資料・スクリーンでの説明）
 - ① 決算審査特別委員会 令和4年（2022年）度一般会計
決算 指摘要望事項（議会全体の合意事項分）について
 - ② 流山市内の公共交通の取り組みと東部地域の交通課題に

ついて

③ 教育福祉委員会視察報告

6 意見交換内容

① について

市民 不登校が400人と増えているが、中学三年生の進路指導には、専門の指導員を配置してほしい。フリースクールを作りたいが場所もお金もない。生涯学習センター（フレンドステーション）は遠くて小学生は通えない。その地域で作ってほしい。

議員 専門指導員は議会全体で答えは得られていないが、再度要望をお聞きして議会の中で議論していく。フリースクールは流山市には少ない。国がフリースクール容認・活用に転換し、流山市議会も流山市に公費負担を要望した。

市民 幼児教育支援センター運営事業の「架け橋教育」の「連携」とは？

議員 「幼稚園・保育園（年長児）から小学校へ」を架け橋教育という。その連携。

市民 白みりんミュージアムは赤字？どのくらいお金をつかうのか。

議員 白みりんミュージアムはまだできていない。赤字や負債で議論になっているのは株式会社流山市ツーリズムデザイン本体。毎議会ごとに透明性を求めているが、なかなか進まず強い要望になった。

白みりんミュージアムの入館予想などが甘く、議会から指摘した。

② について

市民 （地域の交通問題での取り組み報告）前ヶ崎みどり自治会は周囲がどこに行くにも坂で交通問題は大きな課題。道が狭くバスが通行できない。大学の先生を招いて研究したが費用などで進まず。松戸市のグリーンスローモビリティ制度を

実態調査し、東・みどり・松ヶ丘自治会で、市役所とも話し合っている。地区内で共同の話し合いを進めていく。

③ について

市民 熊本でフリースクールが多いのはなぜか？補助金があるのか？

議員 人口が多く子供も多い。有名フリースクールもあり、フリースクールが市民権を得ているのではないか。補助金については調べておく。

(※後日熊本の教育委員会へ問い合わせ。利用家庭に対してもフリースクール側にも補助は出ていない。フリースクールの団体から県と市に家庭に対する補助の要望が出されており、今後検討の段階。)

④ その他について

市民 東小のボランティアをしている。教員が2名欠員で深刻な状態。サポーターが朝の交通指導にはいるため、教室の指導ができない。交通指導員を市の責任で東小前につけてほしい。

東小のプール開放が文科省既定の規則上違法状態である。また、管理がずさんで16歳のアルバイトがチェックしており、セクハラパワハラ対応もできていない。認識してほしい。

市民 今年4月に東部に総合病院を作るという話があったが、その後なくなった。どうなっているのか。

議員 正式な報告は受けていない。交渉相手がいるので、地権者との問題と聞いている。

市民 公的な発表はある程度決まってからとすべき。じゃんけん橋も期間が延び、計画がずさんだ。

議員 意見を記録として残しておく。

市民 幼児教育支援センター附属幼稚園は、市長が1月くらいに廃園を言い出したことが、手続きを無視して強引に進んでいる。議会も十分な検討を。

議員 まだ議案が上がっていない。廃園で市が動いているが、

これからパブリックコメントを募集するのでぜひいろいろな意見を寄せてほしい。

7 参加者から議会への要望

- ・議員は教育内容に介入してはいけない。

8 所感

【楠山 栄子】

今回の議会報告会は、私の地元の東部で開かれ、私の担当は東部諸課題についてのプレゼンテーションでした。東部が10年以上も前から取り組んでいる公共交通を中心に、他の地域の現状報告と、そして地域の課題について触れさせていただきました。参加者は若い方から年配の方まで、個人で参加された方から自治会つながりだったり、多種多様な参加となりました。

皆様からいただいたご意見は、批判ばかりの声ではなく、いずれも、穏やかで、建設的な意見の交換でした。これは、過去に、長年にわたって開催されてきた議会報告会の成果だと感じています。

今後、議会広報広聴特別委員会で、議会報告会の開催回数、進め方の在り方をめぐって、議論が進められます。ひとつのいい事例となったと思います。

【阿部 治正】

参加者数は市民などが15名と議員が6名という、多くもなく少なくもない数でした。

報告をめぐる質問や意見交換も割と活発であったと思います。不登校の子どもの中の中学三年生への専門指導員の配置やフリースクールに通う子どもへの支援の必要、東小学校の通学サポートや学校プールの市民開放の在り方、地域公共交通の充実などについての意見をいただきました。また「架け橋」教育における諸機関の連携、白みりんミュージアムや流山ツーリズムデザインの

現状などへの質問もありました。いずれも今の流山市が直面しているリアルな課題をめぐる市民の皆さんの声でした。

市民の皆さんとこうした意見交換が行えるのも、議会の側からの時宜を得た適切な素材提供があればこそであり、議会報告会の成否は半分はそのことにかかっているでしょう。個々の議員や会派が主催する市政報告会などと並んで、市議会主催のそれも、市民との意見交換の機会のひとつとして意義を持っていることがあらためて確認できた報告会であったと思います。

【坂巻 儀一】

議会報告会における理想的な参加人数というものは定義されていませんが、今回の教育福祉常任委員会での市民参加人数と3つの課題と説明内容とのバランスは上手くマッチングできていたかに思われます。当初は限られた短時間の中での説明と質疑応答及び意見交換を進行していくのに司会役として時間配分を考慮しなければと心配する点もありましたが、とにかくありがちな市民からの執行部の施策等に対する不平不満への対応もするような場面もなく、市民、議会（議員）お互いにとって有意義なやり取りがなされたと考えます。また、一名の欠席により六名中三名の新規議員の議員構成ではありましたが、それぞれの役目が粛々と果たされ円滑に議会報告会が運営できたことは委員会として喜ばしい事と自負いたします。

【桑畑 伴子】

議員となり、初めての議会報告会ですが15名の市民の方が足を運んで来て下さいました。

若い方からのご意見や地域の課題についての相談。学校プールの問題点など、貴重なご意見をいただきました。

市民の方の意見交換ができ、今の課題などを知る良い機会となりました。

【矢口 輝美】

初めての議会報告会が終わりました。視察報告を担当させていただけましたが、市民の方からのご質問に答えられない点もあり、そのような場合、どちらの媒体を通して後日お答えが出来るのかを確認すべきだったと思いました。次回はしっかり対応したいと思います。

市民の方のご意見を伺うことの出来る貴重な機会となりました。

【乾 えり】

はじめての議会報告会でした。さまざまな立場の議員と一緒に、また自分の地元とはちがう地域で、どういうことになるのか心配でしたが、市民の意見を聞くよい機会でした。地元の声を聞くと同時に、議員は全市的に責任を負うので、地元以外の声を聞くのは重要だと感じました。

市民は「市議会への要望」というより「市政への要望」を言うために参加するので、そこに難しさも感じましたが、議員としてその声をどう受け止め、市民とともに市政に反映していくにはどうするか、考えていきます。

令和5年11月21日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 森田 洋一 様

議会報告会 3班（市民経済委員会）

班長 渡辺 仁二
植田 和子
うた 桜子
戸辺 滋
石原 修治
藤井 俊行
青野 直

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、御報告します。

記

- 1 日時
令和5年11月12日（日）午前10時00分～午前11時30分
- 2 場所
北部公民館 講義室
- 3 欠席議員
なし
- 4 来場者数
市民来場者37人、議員1人、職員1人 合計39人
- 5 報告内容
「令和4年度決算報告について」
「江戸川台駅東口再整備について」

6 意見交換内容：テーマ「北部地域の諸課題について」

（江戸川台東在住・女性より）

近頃の江戸川台は活気がなく、若い世代を呼ぶことが必要と感じている。そのような中、幼児教育支援センター附属幼稚園の廃園の問題が挙がっている。幼稚園協議会で廃園か継続か、多くの意見があった上で答申が出されたが、教育委員会としては廃園の方針で動いていると思われる。教育委員会の中で、十分な検討がなされていないのではないかと。

（議員）

今後の動きとして、パブリックコメントが実施され、その後に議案として上程されるものと思われる。パブリックコメントに多くの皆さまの声を寄せて頂きたい。

（議員）

同園は素晴らしい教育環境を有しているが、幼児教育・保育の無償化の影響などもあり、残念ながら定員が満たされていない現状にある。今後の方向性について、地域の皆さまはどのように考えておられるのかお聞かせ願いたい。

（居住地不明・女性より）

私立と公立の幼稚園に勤務経験があるが、公立は幼児の教育要綱に則り、子ども達が伸び伸びと成長していると感じている。江戸川台も若い世帯が転居してきており、世代交代の過渡期にあることをアピールすると共に、小学校・幼稚園・保育園が集積している教育モデル地域として、積極的にアピールして頂きたい。

（西初石在住・男性より）

ジェット口跡地にはどのような施設が入るのか。また、出張所が移設された場合、その跡地の活用はどのようになるのか。

（議員）

ジェット口跡地には当初、障害者施設が入るとの話があったが、今は明確になっていない。また、現出張所の建物付近は駅前広場になると思われる。

（議員）

本年4月1日付の広報ながれやまには、ジェット口跡地に障害者センターが入るとされていたが、先の議会で一旦白紙といった旨の

答弁があった。江戸川台東自治会から要望書の提出があったことを受け、市民検討会が設置され、こちらでの議論をもとに、どこまでの公共施設を集約するのか、検討がなされるものと捉えている。

（居住地不明・女性より）

子どもの教育の入り口は幼稚園であり、非常に重要な場であると捉えている。また、幼児教育支援センター附属幼稚園は、他にはない素晴らしい施設があるということを更に認識して頂きたい。

（議員）

かつて、流山市内には3カ所の公立幼稚園があったが全て廃園という話があった。そこで会派を超えて議会も動き、今の状況がある。今回も、議会としてしっかり協議して参りたい。

（東深井在住・女性より）

息子が中学校の職場体験で現附属幼稚園に伺ったことが契機となり、良い経験を積ませてもらえたことで今春、小学校の教員となった。素晴らしい幼稚園が廃園の危機にあると知り、幼稚園協議会も傍聴したが、他の父兄もこの事実がほぼ分かっていない。我が子ではないが、この話を聞いて卒園生もここに来てくれている。

（卒園生2人より）

先生も素晴らしく、いろいろなことを教えてもらった。廃園になると聞いて悲しい気持ちとなった。ぜひ、残してほしい。

（東深井在住・男性より）

（決算審査の）指摘要望事項の中で、多くの会派から旧・割烹新川屋に関する要望が挙がっている。今後、周辺の観光地化も含め、どのような整備がなされるのか。

（議員）

改修に多額の費用が掛かることが判明し、計画は止まっている。今後も注視して参りたい。

（議員）

決算審査でも各会派から様々な質疑があった。今後も現地視察等も実施し協議していきたい。

（江戸川台東在住・女性より）

ジェット口跡地の活用について、市民検討会が開かれているが、方向性が見えてこない。議会として執行部に任せずに、住民の声を聞いてほしい。

（議員）

北部地域の議員たちでこれまでも執行部との意見交換を重ねてきた。そこで、我々が要望してきたのが、「地域住民の意向を反映してほしい」ということだった。もし、何か要望があれば遠慮なく申し出てほしい。

（江戸川台東在住・男性より）

ジェット口跡地の活用について、自治会として要望書を提出するなど、市とこれまで話し合いを進めてきたが、どの公共施設を集約するかが明確になってこない。庁内でも協議をされてきたようだが、議会としてももう少し後押しをしてほしい。

（議員）

我々としても市民検討会を傍聴するなどし、協力して参りたい。

（江戸川台西在住・男性より）

ある雑誌でも流山市が紹介され、おおたかの森周辺の整備や学校の不足等に注目が集まっているが、自宅周辺は側溝の蓋も掛かっていないような状況にあることや、雑木林が伐採されて宅地が開発され、新川耕地も物流施設となるなど、都心から一番近い森のまちと言いながらも過剰にPRしているように思える。このような課題も考慮して頂きたい。

（居住地不明・男性より）

江戸川台駅東口周辺再整備計画にしても、附属幼稚園の廃園に関する議論にしても、住民にその経過など知らされていないケースが多い。市民検討会での議論も、ただ話を聞いたというだけで終わりにしないで頂きたい。また、議員の方々も、今回の議会報告会での参加者の想いを、しっかり反映して頂きたい。

（議員）

しっかり取り組んで参りたい。

7 参加者から議会への要望

6に記述の通り

8 所感

(渡辺 仁二)

市民経済委員会での議会報告会ではテーマを「令和4年度決算について」と「江戸川台駅東口再整備について」、そして、「北部地域の諸課題についての意見交換会」の3つで行いました。

北部地域で関心が高かったものはやはりジェット口跡地をどうするのか？といった話題が多いが、流山市幼児教育支援センター附属幼稚園への意見も沢山あり、幼稚園施設の今後を市民の皆様が大変気にしていることがわかりました。その他、旧・割烹新川の活用についても質問があり、利根運河を含めた利活用を考えてほしいとの声がありました。

通常であれば10から20名ほどの参加者であるが、今回は40名近い参加者になり、多くの声を地域の方々から聞くことができました。昨今の議会報告会では、市政への意見よりも誹謗をしたり参加者自らの意見を発表する場となりやすい状況がありましたが、議会報告会は議員と市民の皆様が互いに声を聞くことが本来の姿だと実感しました。

(植田 和子)

改選もあり、1年ぶりの議会報告会は地元の北部公民館でした。今季一番の冷え込みにもかかわらず、多くの市民の方にご参加いただきました。講義室のイスも足りなくなるほどの超満員。こんなに市民の方の参加が多かった議会報告会は、3.11の放射能汚染後の報告会と、平成24年の水道水からホルムアルデヒドが検出され断水となった翌日の議会報告会以来です。

関心が高かった理由は、幼児教育支援センター附属幼稚園の廃園問題が急浮上したから、でした。市長は、正式な発表を一切していない中で、着々と廃園に向けて、それもかなり強引なやり方で進めていることについて、多くの市民から怒りの声があがりました。江戸川台幼稚園の卒園1期生の方から中学生の卒園生の女の子達まで「無くさないでほしい」という意見で溢れていました。

ここ数年は、参加者も少なくなっていて、正直、議会報告会の役目はもう終わりなのかな、とと思っていましたが、市民と対話す

る機会が保障されている議会報告会は、やっぱり必要だと確信しました。特に、市議会主催の議会報告会は、会派を超えてみんなで情報共有できる貴重な場であることと、議会活動をしていく上で大事な場であることを再認識しました。

(うた 桜子)

今回は37名の参加者で、幼児教育支援センター附属幼稚園の廃園を心配する市民を中心に意見交換が行われました。多くの方がそれぞれの想いを発言し、卒園した中学生も勇気を振り絞って意見を述べる場面もあり、老若男女が参加する大変有意義な意見交換会となりました。

(戸辺 滋)

休日の貴重な一時にも関わらず、37名という多くの方に議会報告会にご参加いただきました。中学生の方をはじめ、幅広い年齢層の方々に参加していただけたことも大きな特徴であり、改めて議会報告会を開催する意義を感じました。その一方で、当初の参加見込みを大幅に超えたことにより、座席や配布資料の不足が生じてしまい、参加者に多大なご迷惑をお掛けしました。今後は様々な事態を想定し、より入念な準備が必要であると思いました。

意見交換の場では、幼児教育支援センター附属幼稚園の存続に関することや、ジェット口跡地の活用及び今後の方針について多くのご意見が寄せられました。事業の進め方に疑問を感じるといった声や、北部地域の今後の発展に期待を寄せる声など様々でしたが、発言の度に拍手が起こるなど、参加してくださった皆さまをはじめ、地域住民の皆さまが主体者となって、より良い北部地域にしていきたいとの前向きな姿勢を感じました。

また、時間の都合により、発言の機会を失ってしまった方もおられたのではないかと思います。ご記入していただいたアンケート用紙も精査し、皆さまの声を今後の市政に反映できるように努めていきたいと思っております。

(石原 修治)

北部公民館で開催された今回の議会報告会は37名の市民の方が参加され、北部地区においての関心度の高い内容の意見交換となった。項目的には「幼児教育支援センター附属幼稚園の廃園の方向性について」や「江戸川台駅東口再整備について」のご意見が大部分を占めていた。他に自治会からの地域課題もあり、その内容は行政の進め方や対応、説明責任に疑問を呈するものであった。

私たち議員はこの内容を真摯に受け止め、委員会での検討のみならず、会派・議会としても協議が必要であると考え、大切なことは現状をさらに良くするために、方向性と対策をしっかりと検討・協議した上で、市民への説明・報告責任をしっかりと果たし、市民との共有が重要であることを再認識できた報告会であった。

(藤井 俊行)

今回は37名の参加者となった。以前、有害物質が利根川水系に流出したことで断水となった翌日の議会報告会のような関心度の高い議会報告会となった。

市民からの多くの質問や意見は、幼児教育支援センター附属幼稚園廃園に対する反対意見で、教育員会の進め方や行政の判断方法に疑問の声が多く出た。

また、江戸川台駅東口周辺再整備事業の意見としては、ジェット口跡地に対する行政の進め方に疑問を感じている市民が多かった。市の丁寧な説明に対して信頼性が薄いようだ。地域の議員による意見交換の場の充実も重要で、掘り下げて説明を聞く必要があると感じた。

今回の報告会に参加いただいた市民は、独自の意見を強く発言したり、他の方の意見を阻んだり、持論だけを述べるというような方が参加していなく、参加者のマナーの高さを感じた。今後は、各議員の一般質問の推移を見ながら議員として何ができるか、取り組んでいきたい。

(青野 直)

11月12日、午前10時から11時半、北部公民館にて、令和4年度の決算報告、江戸川台東口の再開発、地域との意見交換会で議会報告会がありました。

中でも、一番の行政課題である幼児教育支援センター附属幼稚園の廃園計画については、地域住民からご意見が多くありました。議会に正式に報告がない論点が市民から提案された次第です。議会への上程の議案は、条例改正案として、すでに市長は廃園を決定、教育委員会は廃園決定と発信をされています。もともと、公立幼稚園は東幼稚園、流山幼稚園、江戸川台幼稚園と3園ありました。東幼稚園は土地契約が満期を迎えたことで廃園するという論点であったため賛成したものの、地元の流山幼稚園については、老朽化が著しく廃園という論点であったため、地域の声を聞いて継続すべきだと主張しました。

しかし、議会での議論の中で、江戸川台幼稚園は研究材料として残すことを条件に、東幼稚園、流山幼稚園2園の廃園を認めることになりました。江戸川台幼稚園は定員割れが続いており、教育委員会議では幼稚園廃園の議題では、教育委員6人中4人が賛成、6人中2人が反対となっています。今後は、当局の見解を確認しながら議会でしっかり議論し賛否を明らかにしていきたい。

行政運営の意思決定が日々行われる中、地域にとって重要な論点で行政とは異なる方向性を選択する場合があります。様々な論点を公の場で議論できる議会の役割は重要であり、住民の声を議員7名が同時に聞ける議会報告会は重要であることから、議会報告会は今後も継続していくことが重要だと考えます。

令和5年11月 22 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 森田 洋一 様

議会報告会 4班（都市建設委員会）

班長 笠原 久恵
野村 誠
小沢 えみり
清水 大
高橋 あきら
近藤 みほ
中村 彰男

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、御報告します。

記

1 日時

令和5年11月12日（日）午後1時00分～午後2時30分

2 場所

中央公民館 第2会議室

3 欠席議員 なし

4 来場者数 市民来場者 10人、議員：9人、職員：3人

5 報告内容

①南流山中学校の移転に伴う諸課題（通学路安全対策）

小沢 えみり 議員

②南部地域の街づくりについて

野村 誠 議員

③外水氾濫、内水氾濫対策について

④地域公共交通計画について

③④：清水 大 議員

6 意見交換内容・参加者から議会への要望

【加・Aさん】

・三郷流山橋の有料道路では ETCGO しか使えない。全てのカードが使えることが理想である。議会としてどのような対応をしているのか？

➡料金所は三郷側のみ。Suica、PASMO、ETCGO、現金での利用。ご提案の方がよいと考える。現在他社との契約を進めていくと聞いているので注視していきたい。ETCGOを導入した経緯は初期投資が安価な設備であるということ。

・40年住んでいます。この市は何十万に人口を増やせば気が済むのですか。学校足りない、小学校の人数多い。孫の学校は流山北小で3クラス。今住んでいる住民は求めていますか？新しい人はいいでしょうが、40年住んでいて嬉しくない。なぜ急に増やしたのか意味が分からない。流山に税金を落としたい。30万人がいいのか40万人がいいのか。

➡人口急増についてはもっと計画的に、慎重にすべきと議会提案を行ってきました。人口増に対して自治体として制限、ストップをかけるのは、日本の都市計画の仕組み上難しい所がある。また、良い街づくりをしようとすればするほど選ばれてしまい、移動の自由を制約できない以上、需給バランスを自治体が制御できないという問題もある。流山北小学校区は1学年3クラスまで減ってしまったとあるが、1学年3クラスはむしろ適正規模だと考える。また昨今の児童推計では児童人口が持ち直している結果も確認している。おたかの森地区の方々が、他の地域の魅力を感じ、定住できるよう持続的なバランスができるとよい。その方が人口減少社会の中で生き残っていける。

建築物の高さ制限規制(高度地区)も推進してきた。おたかの森の地域では学区が何回も変わって苦労があると思う。

・他市で歩道と車道の高さ・段差がないバリアフリーの街づくりをしているが、流山市は歩きづらい。市役所、学校に太陽光パネルがついているが災害対策をしている。流山市はわずかな補助金のみ。超高齢者社会、

防災対策で近所の方を助けられない、防災・防犯について考えよ。

➡議会で何度も追求してきた。市の道路の総延長が6万7千 m の距離を一挙にバリアフリー化は無理なので順次。

・おおたかの森小中学校はエアコンはいらないと言っていたが、直ぐに設置した。体育館にも設置した。必要あったのか。

➡地球温暖化の中、熱中症で搬送された事例もあり対応が必要になった。

【向小金・Bさん】

・南流山から市役所への交通の便が悪いのでなんとかありませんか？

➡南流山駅北口から東武バスに乗っていく便がある。

【南流山・Cさん】

・市内の公共施設の壁に落書きが60ヶ所以上もあるので対策をお願いしたい。全体で美観を損ねるようなものか、どのようになっているのか。

➡東部地域では見かけない。注視してみる。道路管理課、みどりの課の対応になるかと思う。

【鱒ヶ崎・Dさん】

・南流山中学校の自転車通学が危険。ヘルメット対策を早急に。冬になると暗くなるので街灯設置が必要ではないかと考える。災害対策費の特別交付税6100万や、総務省の地域手当：等級地6%を7.3%に上げていることも問題だと思う。防災行政無線が聞こえない。地域防災対策はコミュニティーが重要である。ふるさと納税の歳入が3700万であるのに対し、他市へ流れるのが11億円で問題である。議員さんはもっと勉強して頂きたい。私は、財政白書1000円で買っている。10年間、20件近くの請願を出しているが皆さん否決している。ヘルメット補助は野田、鎌ヶ谷、松戸になっているが流山市はなぜやらない。1期目の議員さんは勉強して下さい。

➡街灯について…通行人からは古間木地域が暗くて困っているという声もある中で、住民からは明る過ぎるという声もある。地域住民の声を集約することが必要であることから、調整が難航する。防犯灯はコミュニ

ティ課に連絡いただければ対応する。道路照明は道路管理課、街路灯は商工振興課で対応。

・南流山中学校の道路の暗さの対応を

➡場所を教えてくださいれば対応する。

【Eさん】

・30万人の人口を目指してほしい。流鉄の最終電車が1本削られて困っているのを復活してほしい。

➡貴重な意見、じっくりと声をお寄せ下さい。

・南流山中学校の安全対策が一番求められているのではないか。対策をしていると思われるが100%の対応をお願いしたい。

・通学路の安全対策、未だ時間があるので、自転車で体験してしっかり安心・安全を考えて下さい。議会10年間傍聴している。不登校が多く可哀そう。

➡今後、皆さんの意見を集約してしっかり対応していきたい。

7 所感

●笠原議員

1年半ぶりの議会報告会で初めて出席する1期生の議員もいる中、テーマに沿った説明や意見交換ができたと思います。しかし、議員や議会の活動についてまだまだ理解不十分な点もあり、情報提供や説明をこれからもさらに必要だと感じました。

●野村議員

都市建設委員会の班としては、最初の議会報告会となりました。南部地域の開催ということもあり、南流山中学校の移転に伴う諸課題(通学路安全対策)南部地域のまちづくりについて、外水氾濫・内水氾濫主等南部地域の感心をもっといただけるテーマを選んで各委員が発表しました。私のほうは、南部地域の街づくりについて説明させていただきま

したが、時間の関係もあり十分な説明が出来なかったのが反省点です。次回はテーマを2本位に絞ってやったほうが良いかと思いました。やはり参加者が少ないのが残念でした。事前の周知などさらなる工夫が必要と感じました。又批判ありきで毎回くる常連以外の新たな参加者が来ていただけるような在り方の検討も必要と感じました。

●近藤議員

南部地域のまちづくりの論点について、議員からの視点を報告できたと思うが、参加者が少なく残念であった。積極的な集客は行わないことになっているが、それ自体に問題がある。ご参加いただいた方からは、行政不信を根底とするご意見をいただいたが、事実と異なる部分もあり、それをご説明するには時間が足りないと感じた。

中でも、人口が増えて迷惑だと主張する方と、人口は維持すべきという全く逆の主張をされる方がいらしたように、私たちが日々受ける住民要望が多様である。また法律や経済合理性の観点から制約も多くある。限られた財源を効率活用するため、全体最適の視点も重要であることから、住民と議員はお客様と従事者という関係であってはならず、共に課題に対峙していくパートナーでなければならない。そのためにはまちづくりの論点をわかっていただく必要がある。いち議員としての考えについても、日々発信していく必要性を感じた機会でもあった。

●清水議員

「議員辞めたほうが良いよ」「ちゃんと勉強しろよ」といった発言が市民の方からあった。建設的な議論の場ではなく、つるし上げ裁判的な場になってしまった。これでは報告会をやる意味がなく、市民・議会お互い何も得られるものがない。

開始前に、注意事項説明、注意事項を守れない方は退場いただく手段も必要と感じた。

また、「人口30万人を目指せ」といった都市建設委員会とは直接関係ない質問もあり、議員で答えられる話ではないことを長時間かけて説明する人もおり、こちら側に会の進行をコントロールするスキルも必要と痛感した。

いずれにしても報告会自体、開催する意味や意義があるのか非常に

疑問に感じた。取りやめることも検討しても良いと思う。

●小沢議員

南流山中学校移転についての安全に対する懸念の声が多かった。テーマから外れた質問が多い印象でしたが、貴重な意見をいただき、課題を見つけられて良かったです。

報告会の開催地に関しては、テーマ的に南流山での実施が適切だった気がします。

質問形式に関しては、1問1答方式でやる方が情報を理解しやすく良かったかなと感じました。また、同じ質問者が長く発言していてそれが続いたことで他の参加者が発言しにくくなった印象がありました。次は、うまく回せるように対策を考えたい。

今回表紙にミスがあったことに気付かなかったので次はしっかりとチェックします。

●高橋議員

南部地域での参加は初めてであり、どのような意見がでるのかと思っていましたが、やはり南流山中学校の移転に伴う、通学路の安全対策が求められていると実感しました。日常的な課題から市全体のあり方についても意見があり、短時間では答えられない内容ばかりで、難しさを感じました。

参加者が少ないことも企画してきている中で、残念な面があり課題があるなと思います。議会報告会が始まって十数年が経過していますが、どのような点の改善・工夫が必要かを論議していく時期にきていると思います。

●中村議員

今後の議会報告会の開催にあたって説明者も資料を揃えてしっかり説明しているので、その内容について1つでもご意見をいただければ幸いです。今後の報告会に期待いたします。

アンケート集計結果

【今回の議会報告会に対する意見、発言できなかった事項】

| 1班 総務委員会（会場：初石公民館） | |
|--------------------|---|
| 1 | ・議員さん方が超党派で尽力してくださっていることがよく分かった。 ・やはり「観光」が活きるのは、地域のゾーンとしての整備かなと思う。 |
| 2 | 決算という大きなテーマなので説明は難しいと感じた。来場者に一定の理解が得られていると感じた。 |
| 3 | 年1回ではなく年3回位意見交換会ができないか。 |
| 4 | 観光については、もっと具体的にコースも考えたものも教えていただきたい。 |
| 5 | 市行政が観光事業に関与する必要なし。民間事業者が利益計画等を考え、自ら実施する事案 |
| 6 | 丁寧に説明してくださったと思う。司会進行は良かった。 |
| 7 | 決算の内容は、市議会で徹底討論していると思うので異議はない。ただ、どういう方向へ予算配分するかを皆さんが納得できる方向でやっていただき、これを一応報告いただければ有難い。 |
| 8 | 初石駅の早期完成を！踏切(シルバー人材センター)側高齢者(車・バス)の通りが難しい。パチンコ店の駐車場「夢バスタ初石」なる新設(物流センターへパート職員を多数送れる。) |
| 9 | 議員、議会はやはり当事者ではないと再確認した。テーマから逃げられる。 |
| 10 | 「観光から見た流山」の発表について：課題「住んでんでいる所の良さ」に気づいていない。先日、松戸市の某所を見学した。その説明員の方とは、「流山市には松戸にない通りがある」との話になった。本町のことを指しているはずであるが、再評価とPR手法を考えるべきか考えた。 |
| 11 | 北部地域にも目を向けていただきたい。参加者の方からは意見が出たが、議員の方から、誰も利根運河の話が出なかったのが残念だった。 |

| 2班 教育福祉委員会（会場：東部公民館） | |
|----------------------|---|
| 1 | 〇〇委員の報告の際に、参加者(市民)から発言を求めたことは、進行上、不自然と考える。 |
| 2 | 市民の方と議会として直接対話する機会は普段なかなか無いと思うので、貴重な機会であると感じた。 |
| 3 | 行政は奥深く調整し、市民間に納得のいく方向に持って行って欲しい。 |
| 4 | 今後とも、交通問題は進めていく。 |
| 5 | 議員が教育に口出ししていること、プールの問題など初めて知りました。今、政治が教育に介入しているのが国策として動いている。この地域でもそうした流れになっているのは恐い。病院の問題にしても、市民側の意見により、身近に知るのはよい機会になった。 |

3班 市民経済委員会（会場：北部公民館）

| | |
|----|---|
| 1 | 総体的に質疑の時間が少ない。 |
| 2 | 話を聞いていただきありがとうございます。議員の皆さんよろしく申し上げます。 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料は全席分は事前に用意すべきだと思う。 ・「母になるなら流山」共働き世帯にしか恩恵が無い。全ての母(父)に恩恵があるような仕組みを作るべきだと思う。(子育てするのは母だけでない！) ・このようなアンケートで記入されたことが活かされないので、いかがなものかと思う。 |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・今の人は改善をせず、すぐ「廃」に持っていき、新しいものを作りたがる。流山市もそのような人々が主導で街づくりしている。これはとても危うい。今あるものを、アイデア1つで復活させる人もいる。市に勤めている人はそのような頭はない。そのような人に街づくりをされても、続くことはないのかと不安になる。江戸川台の東口も、民間で働いている住民の意見は必須。おたかの森を新宿とするなら、江戸川台を下北沢として街づくりするべきだ。幼稚園は2年保育、弁当作りで選択から外れる。ならば3年にして、隣の保育所のご飯を共有するなどできればよいのでは。 ・ブラスリーについて。茨城県大子町には、沢山の廃校はある。そのいくつかを一般公開して自由に見て周れる。タイムスリップした気分です晴らしいものであった。食堂もあったようだ。(コロナで今は閉鎖) 全ては工夫である。金が無くても工夫である。DIYが好きな人が沢山いる。SNSでイベントとして人を集めてみては？ |
| 5 | 初めて、このような会に参加した。市民の声を直接議員に伝える大切な会と感じた。 |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントは、単なる市民のガス抜きにしないで欲しい。 ・支援センター幼稚園の廃園については、今後も注目していく。 |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・お弁当作りや送り迎えは、ママだけでなく、パパもおじいちゃんもおばあちゃんも兄弟もやっている。政治家が性差フィルターにかかっているのはどうなのだろうか。 ・市民の貴重な意見の続きを聴きたいのに、司会者が遮っている印象であった。 |
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・説明した議員は予め資料を読んでいるのかと思わされた。もう少し、しっかり説明して欲しい。 ・江戸川台幼稚園、様々な意見が出ていた。公教育、公立というのは、定員割れしているから無くすというのは乱暴に感じる。私立で弾かれた障害があるお子さんを受け入れていると思っているので、その受け皿を無くすのはやめて欲しい。 ・江戸川台住民をおいていく再整備は、やめて欲しいと感じる。 |
| 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当課作成の資料を読み上げる説明にはがっかり。(テーマとして掲げた以上、もっと詳しく内容のある話を期待していた。) ・幼稚園については、廃園の是非より大きな問題として廃園方針に至る経過に大きな問題があると感じている。 |
| 10 | ジェット口跡地に行政機関(出張所や北部包括)が移転するのは明確だが、出張所や北部包括以外にどのような行政機関が入るのだろうか？公募することだが、民間と行政の区画の割合をどのように考えているのだろうか。 |
| 11 | 〇〇議員の説明資料(P.7)の今後について、「先行事例の視察を行いながら…」とある。先行事例とは、どこの自治体、商店街を考えているのか？江戸川台東口の規模や周辺の環境など、参考となる商店街はあるのか。 |
| 12 | 江戸川台は、幼・保・小学校、学童が併設され、流山の教育モデルとなれる地域。若い世代にも魅力のある地域になりうる場所なので、多世代で楽しく温かく安心して住んでいける未来を見据えた計画となっていくことを望んでいる。中高生の居場所も作って欲しい。 |

| | |
|----|--|
| 13 | 江戸川台幼稚園には、他地域の幼稚園で受け入れられないと断られたお子さんを受け入れているという話を聞いた。断られたお子さんは集約され、別の園に入園させられるような話も聞いている。 流山は「母になるなら流山」と謳っているが、子育ての点を含めるべき。問題を抱えているお子さんと普通のお子さんとの小さい頃からの交流も、情操教育に必要である。問題を抱えたお子さんをお持ちの親の意見を聞くべきだと思う。 |
| 14 | なぜ、南流山、おおたかの森を中心に物事が進むのか？なぜ、北部地域の物事が遅いのか？ |
| 15 | 今後の流山の明るい未来にも、子どもも大人も高齢者、支援を必要とする方など、全ての市民が住みやすい街づくりをお願いしたい。そのためにも、幼児教育支援センター附属幼稚園も大切に話し合いをしていただきたい。 |
| 16 | 流山市には斎場がいくつかあるが、火葬場がない。流山市でも、火葬場と斎場が一緒だと、今後自分が高齢になるにつれて必要だと思う。 |
| 17 | 説明について、書いてあることを読みあげるだけでは時間がもったいない。 |
| 18 | 短時間では満足はいかないと思う。 |
| 19 | 旧江戸川台幼稚園の廃園の話は初めて聞いた。市民への情報発信と情報共有が不十分である。円滑な情報交換の対応を要望する。 |
| 20 | 附属幼稚園の廃園について、経過を知りたく伺いました。詳細があまりよく分からないことなどを知り、今後住民として注目していく必要があると感じました。本日は、ありがとうございました。 |
| 21 | 廃園の方針をしっかりと明るみにして欲しいです。在園、卒園児、保護者は、皆さん心配しています。よろしくをお願いします。(旧江戸川台幼稚園 卒園保護者) |
| 22 | 通称、江戸川台幼稚園廃園案については、初めて認識した。江戸川台小、北部中とも、おおたかの森地区に比べて、かなり見劣り、格差がある。これでは、若年層は益々Uターンしなくなる。 |

4班 都市建設委員会（会場:文化会館(中央公民館)）

| | |
|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none">・流山市単独での保健所設立を構築していただきたい。・健全なる財政～無駄無い財政を議員自ら資料等で調べる・教育について、道徳教育に力を入れ「いじめ問題」「不登校問題」を解決してください。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none">・午前中の北部は想定よりも市民が沢山来て座席も資料も足りなく、空調も大変だったが、こちらは空いていて息苦しくない。さすが、流山に普段から息苦しさを感じている〇〇市議の意見が座席に反映されたか？・小沢市議やうた市議の若い意見を反映して欲しい。白みりんミュージアムのようなダサイネーミングやデザインは、流山にこれ以上増やして欲しくない。・電柱や河川敷などの落書きが酷い。見えてない？気づいていない？市議は市民と感覚や美意識がズレている。 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none">・南流山浸水対策・流山の観光事業問題 |
| 4 | <ul style="list-style-type: none">・小沢委員の説明は聞き取りやすく、コンパニオンさんのようですね。・井崎市長と同じマンション住みの方より厳しい意見が出ましたが、市内の地域間格差の解消は南部地域だけではなく、かつて〇〇議員が取り上げた東部地域や午前中の北部地域でも、同様の声があがっています。〇〇議員、〇〇議員も、議会で本町周辺について取り上げていますよね。・流山市は、全国的に知名度が上昇して、住みたい街として評価が上がっていますが、実際に住んでいる住民は、首を傾げる方も少なくありません。今の流山市はおおたかの森のイメージに引き上げられて、イメージ先行で得をしています。住民が皆納得できる、実感できる街を作ってください。・足立区は、23区内で治安が悪いというイメージが付いて回り、苦労しています。（近藤区長は、イメージを変えるためにビューティフル・ウィンドウズ運動に取り組んでいます。）落書きの問題について認知されていませんが、早い段階で目をつんでください。 |
| 5 | 質問が専門的になると回答が難しいですね。議員の皆様がとても頑張っていると思えました。お疲れ様です。 |
| 6 | 丁寧な資料を作ってくれた。 |
| 7 | 司会進行が下手だと思う。〇〇議員の名前が(資料から)抜けている。Unbelievable！！都市建設委員会のレベルが心配。 |

アンケート集計結果

【流山市議会に対する意見、次回以降の議会報告会で取り上げてほしいテーマ】

| 1班 総務委員会（会場：初石公民館） | | |
|--------------------|---|---|
| 意見 | 1 | 夫は介護2でリハビリ入浴と介護タクシー（民間事業）を利用している。年収220万円以上の単身者の介護利用料負担を2割にする案が出ている。現在1割でも苦しいので、市議会では、2割負担反対の意見書を国にあげていただきたい。 |
| | 2 | 江戸川台の再整備について、全体構想が見えず、ばらばらで考えているように思う。強い力のリーダーを望む。 |
| | 3 | ・質問させていただいたが、市全体として観光とレジャーについて、デザインの視点も入れて具体的に議論してほしい。あと、流鉄の車両の色とデザイン？流鉄のダイヤの改善を強く求める。値上げするなら、朝と特に新松戸、終電は武蔵野線の終電と以前のように同じに。 ・おたかの森を中心とした一点豪華主義から、全域へ目配りある改善を。 ・流山の学校教育は本当に大丈夫なのか。以前、生徒の自殺が何度もあった。子どもは安全か。 |
| | 4 | ・男女共同参画基本法に基づく理念を定めたと思うが、多様性を尊重する社会推進条例みたいなものか？さて、これをどうアクションプログラム設定して具体化するのかを教えていただきたい。理念だけでは、絵に描いた餅。魂を入れて実行していかねば。 ・観光の視点では、運河も含め流山市内のトータルなインバウンドをプランしてみてもは。（来る方の興味の違いもあるので、興味別のルートのプランも考えらえるが。） ・足となるミニバスもタクシーも、観光ルートをめぐるツアー的なものを提供していくのもいいのでは。市野谷の森やおたかの森も、新しい名所としてアピールできると思う。みりんミュージアムもできる。 |
| | 5 | ・1つの報告会について、1.5時間、90分での対応では時間が足りないと感じる。 ・終日、1日（1か所）6時間（午前、午後通し）では難しいのか。 |
| | 6 | 前回は提案したが、11月15日の市議会だより発行の後に開催して欲しい。 |
| | 7 | みりんミュージアムは誰が要望したのか？今日の会を見ても、誰も賛成しているとは思えず、何故これにお金をかけて進める必要があるのか分からない。建設は3分の1だとしても、その後の赤字は市が負担するのではないか。集客できるとは思えない。 |
| テーマ | 1 | 農業政策（市）、駅前整備 |
| | 2 | 年金と介護、児童保育園等関連 |

| 2班 教育福祉委員会（会場：東部公民館） | | |
|----------------------|---|--|
| 意見 | 1 | ・「議会」としての報告のため、当たり障りの無い内容になってしまう例が多いと思う。それを打開するにはどうすれば良いか？検討をお願いしたい。 ・4つの委員会を2日間で実施しているが、1日に1つの委員会、終日（5～6時間）で、議員の独自の意見を出せる報告会にして欲しい。5月に2委員会、11月に2委員会⇒各委員会が年に1回報告会を対応する。 |
| | 2 | ゴミ袋の有料化や廃園のことなど、ほとんど後付け。説明会は一方向的で形が多いので、もっと議会できちんと議論を深めて欲しい。パブコメをと言うが、中々そこまで動けず。市民への周知を徹底して欲しい。 |

3班 市民経済委員会（会場:北部公民館）

| | | |
|----|----|--|
| 意見 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・流山街道の運河駅周辺の渋滞をなんとかして欲しい。 ・おおたかの森中心の開発でなく、他の地区の開発を進めて欲しい。 |
| | 2 | <p>知名度だけ上げる努力をするのではなく、子育て環境を整えた上で人を集めて欲しい。おおたかの森小学校建設の際にも、住民が「収容人数が少ないのでは？」と質問した際、行政側は「大丈夫です」と返事されている。結局、収容人数が足りず、おおぐろの森小や市野谷小を建設する事態になっている。</p> <p>新川小、西深井小を合併し、西深井小を空き校舎にしておおたかの森からスクールバスを出して対応するなどできるのでは？と思う。</p> <p>市長が若返りしないと、流山は変わらない。6歳と60歳に優しい街づくりをすべき。もっと言うなら、障害者に優しい街づくりをすべき。</p> <p>そうすれば、宣伝にお金をかけなくても、自然に人が集まるはず。</p> <p>おおたかは、20～30年後、ゴーストタウンになる姿が見えている。そうならないように、行政は努力すべき。</p> |
| | 3 | <p>【幼稚園の件】 私を含め、子ども3人が卒園、大変素敵な幼稚園である。認定子ども園として、形を変えても良いので、残して欲しい！！協議会も「できレース」であると思う。もっときちんと話をして幼・保・小学校のあること、地域を大切に、地域活性化とともに残していただきたい。おおたかばかりで、江戸川台ももっともっという街にしたい！！江戸川台生まれ江戸川台育ちの人達皆が街の活性化、幼稚園の存続を希望したい。</p> <p>【商店街の活性化】 まちづくり課に頼らず、もっときちんと市をあげて取り組んで欲しい。江戸川台はいい街にしたい！議員皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> |
| | 4 | 市はおおたかの森の芝生を何回も張り替えしていて、駅前にお金を落としているのに北部の公園のベンチを直してくれない。市長はメディアにおおたかの森のアピールばかりすぎ。選挙の時しか北部に来ない。流山唯一の公立幼稚園なので残して欲しい。 |
| | 5 | 公立幼稚園の件。教育を金勘定で考えないでください。教育を論じてください。 |
| | 6 | 市の出している統計を鵜呑みにするのではなく、市議は江戸川台の実情をしっかりと把握して欲しい。独自に自分の目で確かめて、今後の見通しを考えて欲しい。 園児が減っていると言うが、支援附属幼稚園という名前では、障害のある子が行く幼稚園なの？とよく聞かれる。附属幼稚園でなく独立した公立幼稚園を希望する。 |
| | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・流山市内の落書きがどんどん増えている。「割れ窓理論」から言っても放置は百害あって一利なし。事件が起きてからでは遅い。 ・子どもの教育に予算を削る市は廃れる。 ・駅前の活性化は、うた議員や小沢議員など、若い世代の声をもっと取り入れて欲しい。白みりんミュージアムと同じように、ダサくしないで欲しい。 ・後から来られた方々にコピーや公報を配っていたが、抜けていたり、11/11の公報を配っていた。 |
| | 8 | 資料はきちんと読んで欲しい。議会報告会で議員が私情で話すのはやめて欲しい。パフォーマンスっぽく感じる。事実を明確に話して欲しい。近しい存在と説明は別物。市民を軽く見ないで欲しい。 |
| | 9 | 議会報告は漠然とし内容ばかりで、話が不明な点が多過ぎる。 |
| | 10 | 「子育てしやすい流山」と訴えているが、旧江戸川台幼稚園の廃園問題はちょっと違うと思う。子供達のために(建物も新しくなったし)活用して欲しい。教育的には素晴らしいものであった。子供も大きくなり、きちんと自立している。 |

| | | |
|-----|----|--|
| | 11 | <p>旧江戸川台幼稚園に、息子2人を通わせました。「今どき公立のアットホームな幼稚園がある」と感動して、迷いなく息子達を入園させました。1クラス、2学年しかないことが魅力。先生、保護者、園児みんな顔を知っている。園児をみんなで育てる、とても素敵な幼稚園です。同学年だけでなく、縦の繋がりも強く、卒園後も親子、先生とも繋がっています。また、他の幼稚園卒園生の親も一緒に活動に加わったりすることも。江戸幼の保護者が中心に、子ども保護者の活動力が活発に広がっています。私立の幼稚園にない魅力がいっぱいの公立の幼稚園を残さないことは、考えられません。子ども園や、3年保育など、形を変えても残すという方法も考えてください。初めから廃園というところから話が始まっているようで、理解できません。私立、公立、両方の幼稚園が、色々な幼稚園があっという間ではないのでしょうか。多様性の世の中ではないですか。「母になるなら流山」というのは、どうかと思います。緑もどんどん無くなっています。スローガンは形だけでしょうか。住民としては、疑問に感じています。友人に流山すごいねと言われても、胸を張ってそうだよと言うことができません。</p> |
| | 12 | <p>附属幼稚園廃園の件については、透明性を。地元市民の意見をしっかりと聴いてください。保育園多数・待機児童なしは、働く親にはありがたいだろうが、子供にとって本当に良い育て方なのか？質より量の保育が本当に子供にとって良いものなのか。幼稚園教育要領にのっとり、幼児・児童の成長を考え、指導されている園がどれだけあるのか。保育・教育の質の面からも、公立幼稚園の大切さを考えて欲しい。(教育関係者)</p> |
| | 13 | <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育支援センターの話は初めて聞いた。 ・江戸川台駅東西の自転車用通路が少ない。 ・ジェット口跡地にホームセンターや診療所が必要ではないか。 ・高校や大学の誘致が必要ではないか。 ・東部の住民です。北部で行きたくなくなるようなイベントを開催してください。(電車で1時間かかります。) |
| | 14 | <p>「おおたかの森」という、流山市の「コア」を作れたことは良いと思うが、どこまで膨張するのか？北部エリアは「ドブ板」すら無く、破損しているところも多い。毎年数十万円の固定資産税を何十年も払い続けているにも関わらず、満足なサービスを受けるところか、年々劣化している。</p> |
| | 15 | <p>自前の斎場のお願い</p> |
| テーマ | 1 | <p>丁字屋の活用方法について、重層支援について</p> |
| | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・運河駅西口道路整備及び東口の交通網の整備について ・流山街道(県道5号線)交通量の軽減(東京理科大右折によるもの)について ・幼児教育支援センター附属幼稚園(江戸川台第1学童クラブ)・江戸川台保育所等の問題について |
| | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデバイドの対策 ・VR教育について ・メタバースについて ・東部地域について |

4班 都市建設委員会（会場:文化会館(中央公民館)）

| | | |
|-----|---|---|
| 意見 | 1 | 午前中の北部で想定よりも沢山市民が駆け付け、市民に配布のための資料が約10部も足りていなかったの、勉強のために駆けつけていた市議がコピーをとってくださった。それは偉いです。ありがとうございます。でも、それを司会の市議が「市議がコピーをとってくれたんだ」と発言。議員様が庶民にコピーをとってくださったことを有難がれと。あり得ますか？例えば、取引先に「うちの社長がコピーをとってくれた」と言いますか？民間ではあり得ない。感覚がズレている。中学生達も意見を聴きに來てたのに、大人として恥ずかしい！ |
| | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・南流山中:他の中学校と比べ安全性低いのか？ ・人口急増:無計画に人口増やしすぎ ・南流山:ポテンシャルを活かすとは。求めている人は？ ・みりんミュージアム:税金は年々増やし、市職員の職場作り ・ぐりんバス:市民全員に公平化 ・〇〇議員:初めて來ましたが、議員辞めてください。 |
| | 3 | <p>学校教育上、不登校、いじめ自殺と、子供のメンタル環境には従来よりスマホなどもありSNSなど様々な変化の中で、スクールカウンセラー、スクールロイヤーサポート人(厳しいものがあると思う)など様々なhelp serviceを行っているが、ソフト面に対する対策が行われていないのが不満である。</p> <p>具体的には、道徳教育の内容が、人権教育の視点から性教育など男女の違いに対するアプローチが必要と考えている。ジェンダー問題や多様性とは何か、など含め、特にビデオの活用なども教員の負担を減らしてより効果的な指導ができるはず。</p> <p>生徒の心の中に考える力を養成することが求められている。そのための様々なツールを用意するべきと考える。他の自治体を参考にするという消極的な態度ではなく、自ら進んで世の中を良くするというリーダーシップをとるべきと考える。田中教育長の尻を叩いていきたい。</p> <p>対症療法ではない、いじめの起こらない環境づくりに取り込むことが大事。</p> <p>今年、生涯学習センターで行われた青少年の主張の後に「いじめ」のビデオが上映された。私はこれをどこで製作したのか興味を持ち、民間企業の名前であったが、こういうケーススタディーを教育委員会(県レベル)が作り、どんどん活用するのでもいいのではと思う。</p> |
| | 4 | <p>【流鉄のダイヤについて】</p> <p>変更されてから、とてもひどく不便になった。終電を新松戸駅(武蔵野線)0:18と同じに、幸谷駅0:18に戻して欲しい。朝も本数が減って接続がとても不便になった。来年に値上げもされる。流鉄離れをこれ以上起こさないように利便性向上をどうか議会として流山市として強く訴えてください。要望いたします。</p> |
| テーマ | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・監査員について、議選の監査員は必要か？(理由:議員は、議会に専念しなければならない。外部から常任監査員1名、非常勤が1名とある。資格を有する人に委任することが今の時代不可欠である。) ・特別交付税減額について |
| | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・メタバース流山 ・VR教育 ・幼児支援教育センターの廃園について |

第24回議会報告会 班ごとの開催時間検討用資料

例1 班ごとに完全に時間を分ける（1時間15分／班）

▼開催時間の想定

| | |
|----|---------------|
| 1班 | 12:30 - 13:45 |
| 2班 | 13:45 - 15:00 |
| 3班 | 15:00 - 16:15 |
| 4班 | 16:15 - 17:30 |

メリット

参加者がおおむね全班分の議会報告会に参加可能

デメリット

前回の議会報告会における1班分の開催時間（1時間30分）よりも15分短くなり、第23回報告会の反省を活かせない。

例2 2班ごとに時間を分ける（2時間15分／班）

▼開催時間の想定

| | |
|-------|---------------|
| 1班、2班 | 12:45 - 15:00 |
| 3班、4班 | 15:15 - 17:30 |

メリット

- ・参加者が2班分（前半、後半各1班）の議会報告会に参加可能
- ・1班あたりの所要時間を、前回よりも45分長くすることができる。

デメリット

- ・前回は全班分参加できていた参加者が、最多でも2班分のみの参加となってしまう。（※運営方式による）

例3 各班の開始時間に差をつける（2時間45分／班）

※各班の議会活動報告を前半45分程度で行った後、後半で意見交換会の形をとることを想定

▼開催時間の想定（①は議会活動報告、②は意見交換会）

| | |
|----|------------------------------------|
| 1班 | ① 12:30 - 13:15 ⇒ ② 13:15 - 15:30) |
| 2班 | ① 13:15 - 14:00 ⇒ ② 14:00 - 16:15) |
| 3班 | ① 14:00 - 14:45 ⇒ ② 14:45 - 17:00) |
| 4班 | ① 14:45 - 17:45 ⇒ ② 15:30 - 17:45) |

メリット

- ・いずれの方式でも、①の議会活動報告部分には全班分参加可能
- ・ブース方式など、運営の仕方によっては②の意見交換会にも全班分参加できる可能性がある。

デメリット

- ・前回の発表会形式のように参加者の座席を常時固定とした場合、②の意見交換会には、最多でも2班分（1・4班）にしか参加できない。
- ・1対1のブース方式とした場合、対応する議員により回答の内容や質にバラつきが生じる可能性がある。

令和 年 月 日

議会報告会班会議協議事項【班(委員会)】

班メンバー

1 開催日時

令和 年 月 日() 時 分 ~ 時 分

2 開催会場

(※一時保育用には 確保済み)

3 各班テーマ

()

テーマの内容と数は、各班で自由に設定。

4 役割分担

◎班長 ()
司会 ()
書記 ()
受付 ()
写真 ()
班テーマ説明者 ()
// 資料作成者 ()

◎がついている役割については、事務局との連絡調整のため必須で設置。
それ以外の役割については、各班で自由に設置。

◎報告書作成者 ()
アンケート事務局提出者 ()
◎市議会だより掲載原稿作成者 ()

市議会だよりの紙面構成の協議に係る事前調査 とりまとめ結果

紙面構成（記事の割り付け）の改善案とその提案理由について

| 各会派等名 | 紙面構成の改善案 | 理由 | 事務局見解 | 決定事項等 |
|-------|---|--|---|-------|
| 森田委員長 | <p>一般質問通告一覧表について (1)今のスペースの場合、どこに掲載するかは全体のバランスみて、都度変えてはどうか。 (2)編集会議では、割付変更ができないため、会議の場で例示できるよう紙面の冒頭に配置、最後に配置、それ以外の場所に配置した場合のパターンを作る。(もしくは過去の記事から例示する。) (3)大きさを変えて良いならば、横に広くして、2面から3面の下部に載せる。雑誌などの欄外記事のようなイメージ。</p> | <p>読み方として、①議員の顔を見て、どの議員が質問したかを確認する。②取り上げるテーマを見て、議員の質問記事に移る。③興味があるところから読む。など色々ある。 私は、③の読み方をする。一般質問でどんな質問が出たかの一覧はあまり重要視せず、各議員が紙面に一般質問した質問のうちどの質問を掲載しているかが重要だと考える。 (多くの議員が取り上げているテーマが重要とは思わない。)</p> | <p>第186号においては、既に決定した紙面構成で校正準備を進めていることから、次回187号以降、紙面構成の段階からできる限り先頭に載せられるよう努める。</p> | |
| 日本共産党 | <p>一般質問通告一覧表を、各議員の一般質問が掲載されるページの冒頭に移動してはどうか。</p> | <p>(一般質問掲載ページの)最初のページに各議員がどのような内容で質疑したのか判るので、先頭(最初)ページにある方が良い。</p> | | |
| 流政会 | <p>一般質問通告一覧表について 記事の冒頭に移動することについて、簡単に移動できるなら移動したほうが見やすいと思うが、そのままでも良いと思う。</p> | <p>簡単に移動できないなら事務局にそこで時間を取らせるのは申し訳ない。また、議会だよりを読む人は元々興味のある人だと思うので、どの場所書いてあっても探して見てもらえるのではないかと。</p> | | |
| 流山みらい | <p>特になし</p> | <p>—</p> | | |
| 公明党 | <p>特になし</p> | <p>—</p> | | |
| 自由民主党 | <p>一般質問通告一覧表について (例のとおり)一般質問通告一覧表を、各議員の一般質問が掲載されるページの冒頭に移動してはどうか。</p> | <p>(例のとおり)一般質問通告一覧表は一般質問の記事の中では目次のような役割を果たしていることから、先頭に一覧表があり、その後個々の一般質問の記事(内容)が続いた方が読み手にとって伝わりやすいと考えるため。</p> | | |
| 阿部委員 | <p>通告一覧を一般質問が掲載されるページの冒頭に移動する。</p> | <p>通告一覧を最初に置くことで、当該の会期の議会の一般質問において、どのようなテーマが取り上げられたのが良く理解できる。 市民が、その時期における地域や市政におけるホットなテーマを知る機会にもなり得る。</p> | | |